事故。トラブル対応事例

関東地方整備局管内の 工事事故発生状況と対策について

国土交通省関東地方整備局企画部技術調査課

なかはら こうじ

課長補佐 中原 浩慈

1. はじめに

平成20年度の関東地方整備局における工事事故の発生件数は,105件となり,平成19年度に比べ16件の減少となりました(図 1)。

しかしながら,平成20年度重点的安全対策項目 において死亡事故が発生するなど,きわめて憂慮 すべき状況となっております。

本稿では,平成20年度の工事事故発生状況とそ

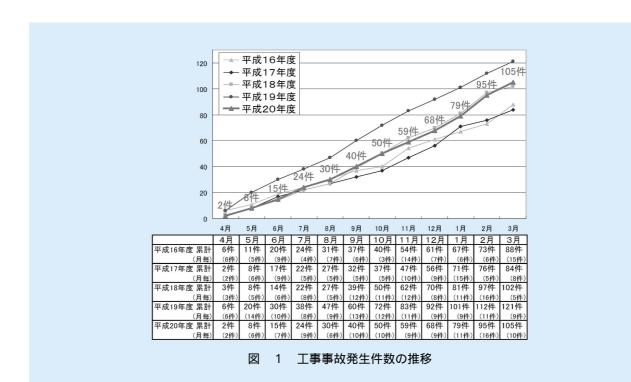
の事故事例ならびに平成21年度の事故防止対策に ついて紹介します。

2. 平成20年度の工事事故発生状況

(1) 工事事故発生件数の推移

平成19年度に比べ,工事事故件数は減少したものの,過去5年間で2番目に多い工事事故件数になりました。

一方で工事発注件数は,年々減少しており平成



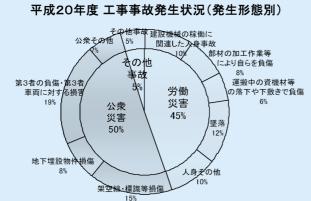




図 2 発生形態別事故件数

19年度は2,000件を割り,平成20年度は1,908件となっています。

(2) 工事事故の発生形態状況

工事事故発生形態別では、図 2に示すとおり、公衆損害事故が増加しており、全体の50%を占めています。公衆損害事故のうち、「第三者の負傷・第三者車両に対する損害事故」が最も多く、公衆損害事故全体の4割(21件)を占めています。次いで架空線・標識等損傷事故、地下埋設物件損傷事故が多く発生しています。

また,工事関係者事故では,墜落による事故が 13件,建設機械の稼働に関連した人身事故が10件 となっております。

3. 平成20年度に発生した事故事例

(1) 架空線・標識等損傷に関する事故事例について

1) 事故発生概要

路面切削機による切削作業に向けた 準備をしていたところ,切削機のベルトコンベアを伸ばした際,警察標識に 接続する架空線に接触し,標識を倒壊 させた事故です(図 3,写真 1)。



写真 1 事故発生状況

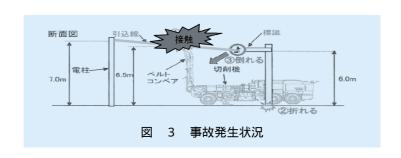
2) 事故発生原因

- ① 架空線損傷防止の注意喚起が現場でなされて いませんでした。
- ② 架空線等損傷事故の防止として目印表示等の 設置が行われていませんでした。

平成20年度は,同様な事故が17件発生しました。

(2) 地下埋設物件損傷に関する事故事例について

1) 事故発生概要



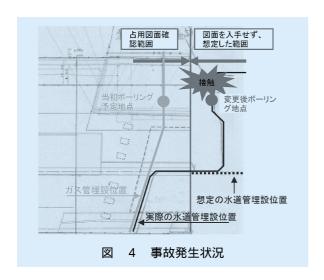




写真 2 事故発生状況

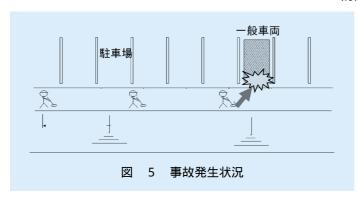




写真 3 事故発生状況

地質調査を行うため,ボーリングを行った際, 埋設してあった水道管 (ϕ 700) に接触し,破損 させた事故です(図 4,写真 2)。

2) 事故発生原因

ボーリング地点は発注者が貸与した占用図面の

範囲外でしたが,占用図面から水道管がそのまま 直線的に延びていると思い込み,図面を入手せず に作業を継続してしまいました。

平成20年度は,同様な事故が8件発生しました。

(3) 第三者車両損傷に関する事故事例について

1) 事故発生概要

肩掛け式除草機を使用して,法面の除草作業を 行っていたところ,刃先に小石が接触し,隣接す る駐車場に停車中の第三者車両に飛石し,後部ガ ラスを損傷させた事故です。

幸いにも第三者車両に乗車していなかったことから,人身事故までには至りませんでした(図5,写真 3)。

2) 事故発生原因

除草作業において,第三者および第三者車両に 小石などの飛散の恐れのある箇所では,飛散防止 用のネットなどの対策をすべきであったが,その 防護を怠ったことが原因と考えられます。

> 平成20年度は,同様な事故が16件発生 しました。

(4) 建設機械の稼働に関連した人身事 故事例について

1) 事故発生概要

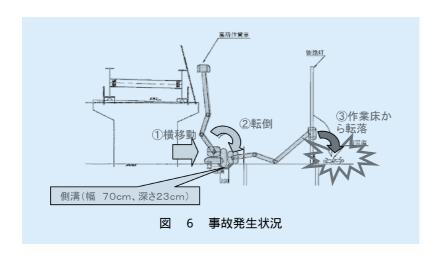
橋梁上部の足場設置作業を行うため に,高所作業車を用いて作業を行ってい ました。作業員が高所作業車を移動させ た際,側溝にはまり,国道側に作業車が 転倒しました。

その結果,作業員1名が死亡,1名が重傷 を負いました(図 6,写真 4)。

2) 事故発生原因



写真 4 事故発生状況



無資格の作業員が高所作業車を運転したことが 原因と考えられています。

平成20年度は,同様な事故が10件発生しました。

(5) 墜落による事故事例について

1) 事故発生概要

主桁の足場解体を行っていた際,足場材 (L=1.8m)を高さ3.6mから下ろそうとしたところ, 手袋が足場材に引っ掛かり,材料と一緒に作業員が転落(左大腿骨骨折)しました(写真 5.8m

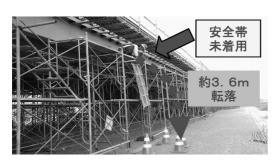


写真 5 事故発生状況

2) 事故発生原因

高所作業にもかかわらず,安全帯を装着していなかったことが事故の原因と考えられます。

平成20年度は,同様な事故が13件発生しました。

4. 工事事故防止の取り組み

関東地方整備局では,平成20年度の工事事故の 発生状況を踏まえ,工事事故対策のより一層の徹 底を図るために,「平成21年度 重点的安全対策項目」を定め, 管内各事務所に通知するととも に,関係業団体に会員各社への 周知を依頼し工事事故安全対策 の向上に努めています。平成21 年度の重点的安全対策項目は, 次のとおり定めました。

- (1) 平成21年度の重点的安全 対策項目
- 1) 架空線等の損傷事故の防止
- ① 目印表示等の設置,現地確認
- ② 適切な誘導
- ③ アーム・荷台は下げて移動
- 2) 地下埋設物の損傷事故の防止
- ① 地下埋設物に対する事前調査,試掘の実施
- 3) 第三者の負傷および第三者車両等に対する損 傷事故の防止
- ① 適切な交通誘導
- ② 除草作業時の飛石等の飛散防止対策
- 4) 建設機械の稼働に関連した人身事故の防止
- ① 適切な施工機械の選定および使用
- ② 有資格者の配置状況の確認
- 5) 足場・法面等からの墜落事故の防止
- ① 作業員に対する作業方法および順序の周知
 - (2) 工事事故の措置

「重点的安全対策」の遵守が不十分であったために発生したことが明らかな工事事故に対しては,請負業者に対し,口頭厳重注意または文書厳重注意の措置影響期間を15倍としています。

(3) 工事事故に対する下請負人への措置

工事事故を発生させた場合において,下請負人 に責があることが明らかである場合には,下請負人に対しても厳しい措置をすることとしています。

5. 表彰制度

安全管理優良請負者表彰について 関東地方整備局では,安全対策の向上および円 滑な事業の推進に資するため、施工実績工事において安全管理が優秀な請負者には、表彰を与えています。

この安全管理優良請負者表彰は、過去3年度間の累計完成工事量が3件以上かつ請負額の合計が5億円以上の実績があり、安全対策において他の模範となる請負者に表彰しています。この表彰を受けた請負者には、工事入札参加時の総合評価において配点が5点加算されるとともに、安全旗(写真 6)を貸与しております。請負者は、工事現場に安全旗を掲示することで、他の模範となるとともに現場で働く作業員に対してもさらなる



写真 6 安全優良旗

安全対策の意識の向上を図ることとしています。

6. おわりに

平成20年度より,関東地方整備局のホームページにて「工事事故事例」を掲載しました。月ごとに関東地方管内で発生した工事事故をわかりやすく掲載していますので,工事を始める前に,現場関係者の方々におかれましては是非一度ご覧いただき,事故に対する意識を高めていただければと思います(図 7)。

適正な安全対策を実施し工事を竣工することは,工事の成績評価に反映されることはもとより,企業の業績や技術力を高めていく面でも重要な要素にもなってきます。

平成21年度も引き続き重点的安全対策を遵守 し,工事現場での事故防止に努め請負者,発注者 ともに安全対策に取り組んでまいりたいと考えて います。



関東地方整備局 工事安全対策

クリック

検索